

鶴舞中央図書館企画展示

第一弾

2月21日(土)～3月19日(木)

本町通あれこれ

評定所

茶屋四郎次郎邸

東照宮祭

場所 鶴舞中央図書館2階

期間 2015年2月21日(土)

～2015年5月14日(木)

本町通をさんぽする

## 本町通あれこれ

### 城下町のメインストリート

江戸時代は、名古屋城と熱田を結ぶ本町通がメインストリートでした。数多くの商家が軒を連ねており、広小路より南には大きな寺院が並んでいました。

#### \*展示資料\*

『書抜大福帳』 山田丹心館 1901年

明治34(1901)年9月に創刊された月刊雑誌です。本町通に面した商家を知ることができる「愛知商家案内」は毎号連載されました。これを見ると数多くの商家があったことが一目瞭然です。

### 町名が変わった

昭和3(1928)年2月、天皇即位の大典記念事業として改修することが決まりました。同年10月2日に工事は竣工し、舗装が施され、幅も広がりました。昭和天皇の名古屋行幸のコースであったため、本町・玉屋町は統合され、「御幸本町」と改称されました。

#### \*展示資料\*

『名古屋市街全図』 名古屋市図書出版同盟会 1928年

『名古屋市街全図』 六楽会(発売) 1929年

昭和3(1928)年と昭和4(1929)年を見比べると、町名が変わっているのがわかります。

『御幸本町通改修記念帖』 本多進作/編纂 本多進作 1928年

工事概要や改修された御幸本町通の風景写真を見ることができます。

#### ■参考文献

- 『史話名古屋城と城下町 [改訂版]』 水谷盛光/著 名古屋城振興協会 1997年
- 『新修名古屋市史第6巻』 新修名古屋市史編集委員会/編集 名古屋市 2000年
- 『大正昭和名古屋市史第3巻』 名古屋市/編 名古屋市 1954年

## 評定所

寛文4(1664)年に、本町片端東角に裁判権行使の機関として設けられました。裁判権行使の機関としては他に三奉行(寺社奉行・勘定奉行・町奉行)、用人、側用人、熱田奉行、岐阜奉行、代官などがありました。三奉行などの専管にかかる事項については各奉行が裁決しましたが、他奉行との関連事件や、特に重大な事件については、評定所で裁決が行われました。

### \*展示資料\*

『雑識』 河村秀根/著

評定所で裁決された事件のひとつ。安永頃の蘇森子桂の一件について書かれています。

『棕園時事録』 山田千疇/著

慶応4(1868)年に起きた青松葉事件では、渡辺新左衛門らがここで処刑されました。“棕園”は国学者・山田千疇の號。

#### ■参考文献

『名古屋市史 [第3]』名古屋市/編 愛知県郷土資料刊行会 1980年  
『尾張藩公法史の研究』林董一/著 日本学術振興会 1962年  
『愛知百科事典』中日新聞社/編 中日新聞本社 1976年

## 茶屋四郎次郎邸

鎖国まで朱印船貿易家として活躍した茶屋四郎次郎家の分家。江戸幕府呉服師として将軍の召服調度品を扱う一方、尾張藩呉服師として藩主衣服の調達などをして仕えていました。茶屋は屋号で、姓は中島。“茶屋町”という町名は、代々、茶屋家が住んでいたことに由来します。朱印船貿易廃止後、新田開発を始めました。茶屋新田は寛文3(1663)年から9(1669)年の間に初代長意が、茶屋後新田は延宝5(1677)年から二代目長以が行ないました。茶屋後新田は開発当初は長以の所有でしたが負債が重なり、明治初年頃には関戸家の所有となりました。

### \*展示資料\*

『尾州茶屋記録集』 『尾州茶屋日記』

由緒書や日記などの記録から茶屋家の様子を知ることができます。

#### ■参考文献

『近世名古屋商人の研究』林董一/著 名古屋大学出版会 1994年  
『名古屋市史 [第8]』名古屋市/編 愛知県郷土資料刊行会 1980年  
『港区の歴史』山田寂雀/著 愛知県郷土資料刊行会 2009年  
『名古屋市港区誌』港区制施行五十周年記念事業実行委員会/編集  
港区制施行五十周年記念事業実行委員会 1987年

## 東照宮祭

東照宮は、元和5（1619）年、徳川家康を祀って名古屋城三の丸に創建されました。現在の場所に移築したのは明治9（1876）年のことです。祭礼の始まりは元和4（1618）年といわれており（諸説あるようです）、簡素なものでした。元和5（1619）年、七間町が山車を作り、行列に供奉したのをきっかけに、次第に各町からの山車が増え、最盛期には9輦の山車が参加しました。こうして、東照宮祭は近世名古屋城下において最大で盛大、そして華やかな祭礼となりました。現在は舞楽奉納神事と家康の命日に大祭が行われています。

### \*展示資料\*

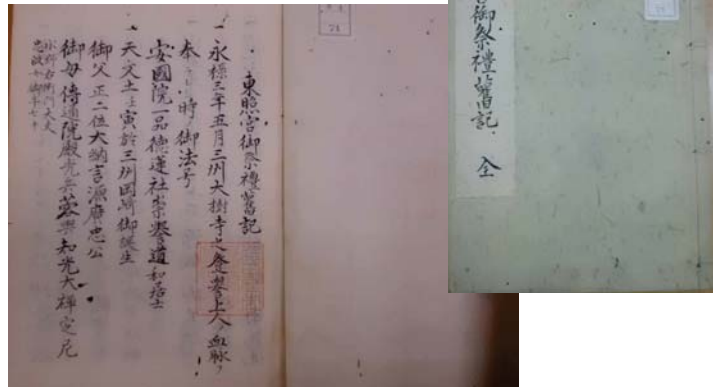
『東照宮御祭礼旧記』 『東照宮御祭礼之記』

祭礼の始まりや行列の変遷などを細かく知ることができます。

『名古屋祭』 伊勢門水／著 川瀬代助 1910年

著者の伊勢門水（通称 水野宇右衛門）は、狂言画家で、明治期における名古屋を代表する文化人でした。名古屋とその近郊の祭りや行事、山車などについて挿絵を交えながら、細かく書かれています。

東照宮祭礼〔写真〕 『名古屋市史資料写真集』より



### ■参考文献

- 『新修名古屋市史 資料編民俗』新修名古屋市史資料編編集委員会／編集 名古屋市 2009年
- 『愛知百科事典』中日新聞社／編 中日新聞本社 1976年
- 『なごやのまつり』名古屋青年会議所／編 名古屋青年会議所 1980年
- 『祭礼（まつり）・山車・風流（ふりゅう）』四日市市立博物館／編集 四日市市立博物館 1995年
- 『古地図で歩く城下町なごや』流行発信（発売） 2010年

第二弾 3月21日（土）～4月16日（木）